

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)



2019年10月2日

住宅業界唯一の30年連続受賞

2019年度グッドデザイン賞を受賞

- 5点の受賞により、累計受賞数は住宅業界随一の156点に
- 個人住宅、まちづくり提案、ランドスケープデザイン、耐震補強製品、地域・コミュニティプロジェクトなど幅広く受賞
- 地域・コミュニティプロジェクト「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」*1がベスト100に選定

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、2019年度グッドデザイン賞（主催 公益財団法人日本デザイン振興会）において、サステナブルなコミュニティにつながる研究開発プロジェクト「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」、戸建住宅分譲地「エムスマートシティ熊谷」、ランドスケープデザイン「Kamakura Landscape」、個人住宅「伉儷のシュシュ」、住宅用基礎耐震補強製品（工法）「タフベース」*2の計5点で受賞しました。これにより、1990年の初受賞以降、住宅業界唯一の30年連続受賞となり、住宅商品54点をはじめ、住宅関連部品や個人邸など累計156点の受賞数は住宅業界で随一の実績です。

ミサワホームは、「4つの育む」という理念のもと、住まいとは、そこに住む「家族」やその「暮らし」、さらには「日本の心」や「環境」をも育むものと考え、安全・安心で家族に住み継がれる住まいの提案や日本の住文化の継承、そして環境保全という大きな課題についてまで、幅広い視野で研究開発に取り組んできました。またデザインについても、住まいを中心に家族のあらゆる生活をデザインするという考えのもと、建物というハードだけでなく、暮らしの快適さ、楽しさ、安全性や子供の成長、人と人とのつながりを実現するためのソフトについてまでデザインしてきました。さらに大きな視点で、豊かな未来を拓いていくために、まちづくりや社会、地球環境に貢献するデザインにも取り組んでいます。その成果は、グッドデザイン賞を30年連続受賞という住宅業界唯一の実績にも表れています。

今年度のグッドデザイン賞においては5点の受賞に加え、「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」が、受賞対象の中から、くらしや産業や社会をさらに推し進め、未来を示唆する優れたデザインとして高く評価され、「グッドデザイン・ベスト100」にも選定されました。

ミサワホームは、「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、今後も良質の住まいを提供し続けていくとともに、まちづくりやストック活用、医療・介護・子育て支援等の施設建築、複合開発など幅広い分野で優れたデザインを活かし、豊かな住環境づくりに貢献します。

※1 株式会社ミサワホーム総合研究所、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所との共同受賞
※2 三栄商事株式会社との共同受賞

■2019 年度グッドデザイン賞受賞内容

・地域・コミュニティプロジェクト「蒸暑地サステナブルアーキテクチャー」

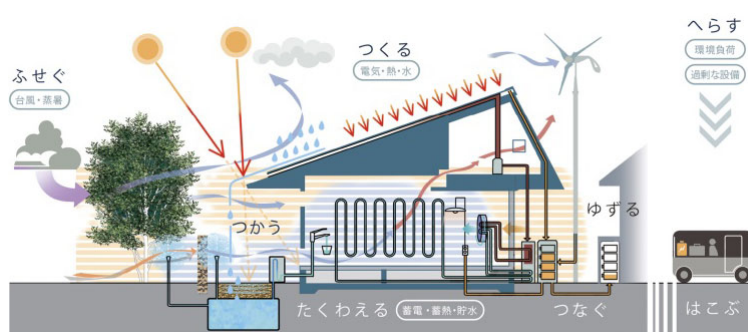
エネルギーを創出する自立型住宅、および地域内・住宅間でエネルギーを相互補完する分散型インフラの構築により、電気や水などが未整備である蒸暑地域においてサステナブルかつ快適な生活を提供するプロジェクトです。2016年3月、蒸暑地域である沖縄県に実験棟を建設するとともに、コミュニティ内でエネルギーや水を相互補完できるシステムの実証を開始しました。住宅は、太陽光・太陽熱・雨水の集積装置として役割を果たす屋根や、太陽熱利用除湿システム、壁・天井放射冷房システムなどを備えています。インフラは、直流自営線によるP2P電力融通システムにより近隣住宅間、電池交換型EVによる無配線マイクログリッドにより離れた建物間のエネルギー過不足の相互補完を実証しています。将来はインドネシアやフィリピンなどの島嶼開発途上国や過疎化地域等での展開を目指しています。

※株式会社ミサワホーム総合研究所、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所との共同受賞

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2016/0125/



外観

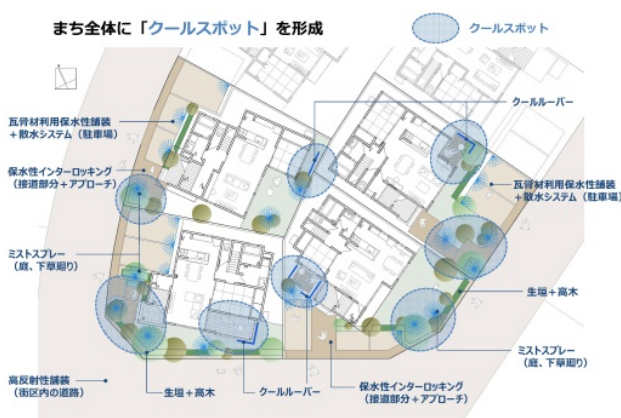


概念図

・戸建住宅分譲地「エムスマートシティ熊谷」

日本一暑い都市である埼玉県熊谷市で「涼を呼ぶまち」をコンセプトに複合的なパッシブデザインを採用し、快適性と省エネルギー性を両立させた戸建住宅分譲地です。ランドスケープは、日中の暑さ対策に重点を置き、立地環境や周辺の気候風土に基づき、風の通りに配慮した街区計画を実施。風上側に既存木やミストを利用した公園を設け、まちに流入する風をクールダウンしつつ、まち全体で統一した保水性ブロックや植栽ルールなどにより、省・創エネ技術と美しさを調和させたまちなみを形成しています。また、個別の住宅についても太陽光パネル、樹脂サッシ、トップライト、シーリングファンを採用し断熱性と省・創エネ性を向上させるとともに、外構でも樹木、クールルーバー、ミスト等を組み合わせたクールスポットを創出しています。

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/misawa/news_release/misawa/pop-up/release-pages/2014_08_27/index.html



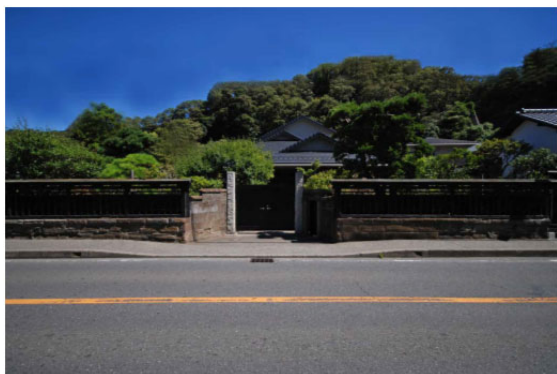
クールルーバー

ミスト

・ランドスケープデザイン「Kamakura Landscape」

古都鎌倉の長谷・極楽寺地区、山之内地区、八幡宮地区の3地区における、5棟の個別の住宅建築のプロジェクトを通してのランドスケープデザインの提案です。風景は人間がつくるものではなく、もともとその地にあるものと考え、その土地の独自のランドスケープを探求しています。各地域の主体となる歴史的遺産と周辺の自然環境から地域独自の風土・文化・独自性を分析し、建物も風景の一部として調和を図ることで、自然と街並みにとけ込むサステナブルな建築としています。

※デザイン住宅のコンサルティング、設計を行う社内プロジェクトチーム CDO（センチュリーデザインオフィス）が設計を担当



山之内地区「北鎌倉の家」



八幡宮地区「モリノイエ」

・個人住宅「伧儷こうれいのシュシュ」

住宅の高性能化の恩恵を、街並みへの貢献や家族の思いの表現に活かしたデザイン住宅です。断熱性の向上を受け、開口部を広げるだけでなく街に向けて大きく開くことで、明かりを灯すことを意識しています。また施工性の向上により、空間ごとに区分されていたデザインを同一空間で混在させています。全体として直線的で重厚感のある雰囲気こうれいを間接照明によって強調し、部分的には曲線や軽やかさを取り入れることによって、伧儷（夫婦）それぞれのシュシュ（お気に入り）のデザインを実現しました。



街に向けて大きく開いた外観

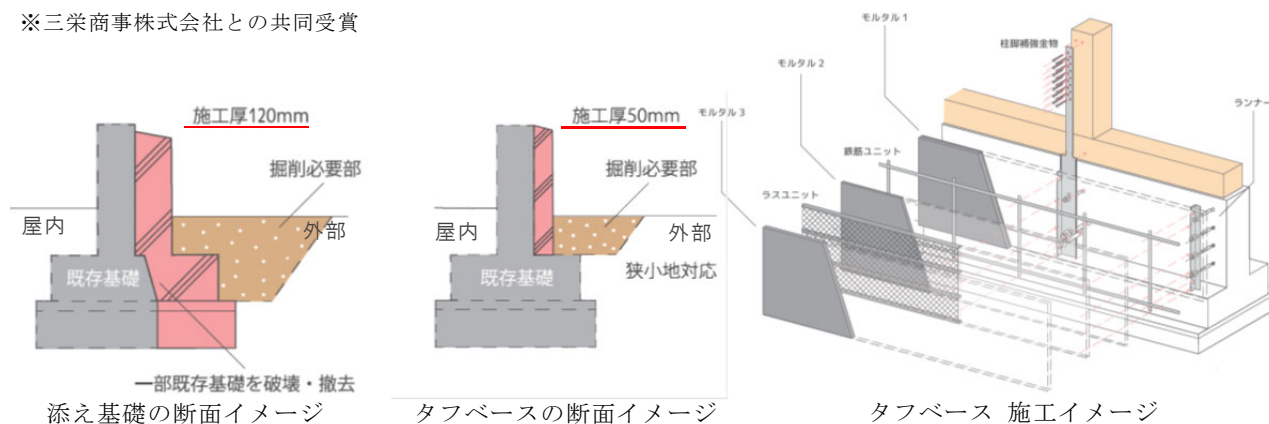


直線と曲線を混在させたエントランス

・住宅用基礎耐震補強製品（工法）「タフベース」

木造住宅のリフォームを対象とした新しい基礎耐震補強工法です。木造住宅の基礎の耐震補強方法としては、「添え基礎」が一般的ですが、施工期間の長さ、必要人工の多さに加え、補強部分の厚さによりデザインを損ねるという問題がありました。当工法では、工場でプレカット加工された組立式の金具・鉄筋を使用することにより、工期は約半分に短縮できるほか、補強部分の厚さも従来の約半分に抑えられるため、施工面、デザイン面において優れています。また、建物柱脚と接合補強金物により、柱補強と基礎補強を関連させた耐震補強が可能です。その他、補強効果の公的評価を取得しているため、耐震診断に基づき適切に補強された建物は耐震基準に適合した建築物として扱われることから、ストックの有効活用にも貢献します。

※三栄商事株式会社との共同受賞



■グッドデザイン受賞展「グッドデザインエキシビション 2019」

会 期：2019年10月31日（木）～11月4日（月）

開催時間：11：00～20：00

※最終日は11：00～18：00

会 場：東京ミッドタウン内各所（東京都港区赤坂 9-7-1）

■ミサワホームのデザイン（特設サイト）

U R L： <https://www.misawa.co.jp/design/>

以 上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株)経営企画部コーポレートコミュニケーション課

大倉海人 横田義史

TEL 03-3349-8088 / FAX 03-5381-7838

E-mail : Yoshifumi_Yokota@home.misawa.co.jp